

# 国語の玉手箱

五年生と「伝えよう、委員会活動」

平成二十八年 二月十日（水）

文責 国語専科 池谷

## 子どもたちの委員会活動を四年生に伝えよう。

先日、作成したリーフレットをもとに四年生に所属する委員会の活動内容を紹介しました。四年生も五年生もそれぞれのグループに分かれて学習を行いました。自分の一番伝えたいことが伝わるように、所属する委員会の大切さをグループの四年生に伝えました。聞く側の四年生も、来年の委員会を決める上での参考になるので、しっかりと目と耳で聞いていました。



四年生には、この交流の前に「今、入ってみたい委員会はありますか？」とアンケートを取りました。四年生は五十名近くいますが、交流後と同じアンケートに答えてもらった結果を見ると、十九名が最初とは違った委員会を希望していました。これは、それぞれのグループで五年生が所属する委員会の良さややりがい、大切さを四年生に伝えることができた成果だと思えます。他にも「やっぱり〇〇委員会に入りたい！」「入りたい委員会が増えて迷っている。」といった人もいました。四年生にとっても、五年生にとってもいい交流ができました。最後に四年生からの感想と五年生の単元の振り返りを紹介します。

### 「四年生の交流後の感想」 ※抜粋あり

・見出し、写真、一番伝えたいことが書いていたので分かりやすかったです。委員会は、みんなのためにある仕事ということが伝わりました。早く委員会活動をしたいです。

・ちゃんが説明してくれて、もっと図書委員会に入りたいと思いました。図書委員の人は、本を大切にしていることが分かりました。

・ちゃんは、間があつて分かりやすかったです。

・四年生で勉強したことを生かしているなと思いました。僕も来年、今の五年生のように勉強を生かして、分かりやすく伝えたいです。

・「活動のまとめ」のところに、反省点というところがあったので、それぞれの委員会に入った時にそこを気を付けてやりたいです。

・色を使っているのが分かりやすかったですし、一番伝えたいことを大きく書いていた。

・新聞と同じように、一番最初に一番伝えたいことを書いたり、色を付けたら、写真も貼っていた。

・ベルマーク委員会の人が本物を貼ってくれていたの、分かりやすかった。

・五年生が活動1を大きく書いていたので、一番伝えたいのかなと思えました。

・活動報告1が一番伝えたいことだとリーフレットを見て分かりました。四年生で習ったことは五年生につながるなと思いました。

《学習の振り返り》 ※抜粋あり

くん

「この勉強をする前は、そうじ、やらなかん、とそれ位思っていました。でも、そうじをするのよにやると周りが気持ちよくなるから忘れずにはやろう」と思いました。

たん

四年生と交流して、私は前期・後期の委員会の仕事に力を入れているけど、四年生がリーフレットを聞いている目を見て、「これまで以上に仕事をがんばりたいと思いました。」

くん

僕は、はじめ自分の仕事をただたんにやっていたけど、リーフレットを聞いていこうちに責任を感じてきて、改めて大事なことを分かりました。

たん

四年生からの感想で「図書委員になりたい」という男の子がいたので、しっかり図書委員会のことを伝えられたと思います。

たん

写真にするか絵にするかなと、いろいろ悩んだんですけど、写真も、絵も、納得のいくリーフレットになったのでよかったです。

たん

私達のリーフレットを聞いてくれた人が、「美化委員会に入りたい」と書いてくれて自分の伝えたいことが伝わったなと思いました。

たん

最初はリーフレットにどんなことを書いたらいいか、どこに何を書けばいいか分からなかったけれど、発表した後はリーフレットをどんな風に書けばよいかなどが分かりました。

くん

リーフレットを書く前は、委員会の作業について深く考えぬことは無かったけど、リーフレットを作ることで深く考え、自分達のやっていることが大事だと気付いた。

たん

（四年生の） ちゃんの意見を聞いて、前よりみんなのためだということを書くようになった。

たん

今回の交流は四年生のためにもなったし、自分のためにもなったので、この交流ができてよかったです。

くん

リーフレットを通じて、新しい発見があったので校内新聞に生かしたいです。

たん

リーフレットに書いていこうとできているの、これからはやらないといけないなと感じました。



保護者の皆様、家庭学習への「協力」がとうとうございました。いくつかの感想を多目的室に掲示させていただきます。ご了承ください。